

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第36期第3四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社インフォメーションクリエイティブ
【英訳名】	INFORMATION CREATIVE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山田 亨
【本店の所在の場所】	東京都品川区南大井六丁目22番7号
【電話番号】	(03)5753 - 1211
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部長 千葉 進
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区南大井六丁目22番7号
【電話番号】	(03)5753 - 1211
【事務連絡者氏名】	管理本部経理部長 千葉 進
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次		第35期 第3四半期 累計期間	第36期 第3四半期 累計期間	第35期
会計期間		自 平成23年 10月1日 至 平成24年 6月30日	自 平成24年 10月1日 至 平成25年 6月30日	自 平成23年 10月1日 至 平成24年 9月30日
売上高	(千円)	4,357,040	4,667,359	5,892,882
経常利益	(千円)	283,513	253,163	353,654
四半期(当期)純利益	(千円)	142,569	157,840	166,539
持分法を適用した場合の投資利益	(千円)	-	-	-
資本金	(千円)	407,874	407,874	407,874
発行済株式総数	(株)	3,866,135	3,866,135	3,866,135
純資産額	(千円)	2,888,711	3,097,968	2,908,224
総資産額	(千円)	4,158,221	4,406,867	4,450,129
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	37.23	41.22	43.49
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
1株当たり配当額	(円)	-	-	24.00
自己資本比率	(%)	69.5	70.3	65.4

回次		第35期 第3四半期 会計期間	第36期 第3四半期 会計期間
会計期間		自 平成24年 4月1日 至 平成24年 6月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.17	11.38

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。又、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策の効果などを背景に緩やかな回復基調にあったものの、欧州財政問題の長期化、新興国の成長減速、デフレ基調の継続に加え日中関係悪化の影響などにより不安定な状態で推移いたしました。今年に入ってからは、政権交代による回復への期待から円安・株高基調を背景に明るい兆しが見え始めております。

当社が属する情報サービス業界におきましては、顧客企業の情報化投資は回復傾向にあります。業界全体の技術者不足の影響や受注単価の抑制は継続しており、依然として厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で当社は、顧客密着型ソリューションビジネスを主体としたサービス・技術の提供を更に進めるとともに、顧客ニーズへの迅速な対応による案件の獲得に注力し、技術者の稼働率向上に努めてまいりました。又、人材育成の推進、諸経費の節減にも努め、収益基盤の強化を図ってまいりました。

当第3四半期累計期間の売上高は4,667百万円（前年同期比7.1%増）となりました。又、営業利益は222百万円（前年同期比16.1%減）、経常利益は253百万円（前年同期比10.7%減）、四半期純利益につきましては、157百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

事業部門別の業績を示すと、次のとおりであります。

(ソフトウェア開発)

ソフトウェア開発につきましては、官公庁・自治体、製造、電力・鉄道業向けオープン・Web系システム開発の受注が増加したことなどにより、売上高は1,999百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

(システム運用)

システム運用につきましては、電力・鉄道、情報・通信、官公庁、製造業向けのシステム運用管理及び、情報・通信業向けネットワーク構築作業の受注が増加したことなどにより、売上高は2,331百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

(その他)

その他につきましては、自社製パッケージソフトウェア販売及び、それに伴うクラウドコンピューティング分野の受注が増加したことなどにより、売上高は336百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ158百万円減少し2,807百万円となりました。これは主に有価証券の減少99百万円及び繰延税金資産の減少83百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ115百万円増加し1,599百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加127百万円によるものです。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ227百万円減少し952百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少115百万円、賞与引当金の減少188百万円及び預り金の増加79百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ5百万円減少し355百万円となりました。これは主に退職給付引当金の減少16百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ189百万円増加し3,097百万円となりました。これは主にその他利益剰余金の増加65百万円及びその他有価証券評価差額金の増加123百万円によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,866,135	3,866,135	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	3,866,135	3,866,135	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	3,866,135	-	407,874	-	389,037

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 37,100	-	権利内容に何ら限定のない 当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,828,400	38,284	同上
単元未満株式	普通株式 635	-	同上
発行済株式総数	3,866,135	-	-
総株主の議決権	-	38,284	-

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%)
(自己保有株式) 株式会社インフォメーション クリエイティブ	東京都品川区南大井六丁目 22番7号	37,100	-	37,100	0.96
計	-	37,100	-	37,100	0.96

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,613,057	1,576,834
売掛金	970,639	936,279
有価証券	99,780	-
仕掛品	53,733	64,580
前払費用	42,166	48,166
未収還付法人税等	-	76,569
繰延税金資産	182,368	98,974
その他	4,099	5,891
流動資産合計	2,965,844	2,807,295
固定資産		
有形固定資産		
建物	45,790	45,790
減価償却累計額	32,783	33,966
建物(純額)	13,006	11,823
工具、器具及び備品	85,774	89,970
減価償却累計額	60,137	66,159
工具、器具及び備品(純額)	25,637	23,811
土地	2,882	2,882
有形固定資産合計	41,525	38,518
無形固定資産		
ソフトウェア	86,032	110,091
ソフトウェア仮勘定	-	37,720
電話加入権	2,173	2,173
無形固定資産合計	88,206	149,985
投資その他の資産		
投資有価証券	951,642	1,079,433
投資不動産	146,499	146,499
減価償却累計額	18,304	18,580
投資不動産(純額)	128,195	127,919
敷金及び保証金	46,458	37,189
会員権	12,700	12,700
保険積立金	118,716	123,397
繰延税金資産	99,578	31,030
その他	4,245	6,383
貸倒引当金	6,985	6,985
投資その他の資産合計	1,354,552	1,411,068
固定資産合計	1,484,284	1,599,572
資産合計	4,450,129	4,406,867

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	99,476	71,879
未払金	393,927	454,508
未払費用	53,414	28,002
未払法人税等	115,188	-
未払消費税等	63,109	64,098
預り金	41,335	120,840
賞与引当金	391,101	202,509
役員賞与引当金	15,583	-
その他	7,816	11,134
流動負債合計	1,180,951	952,971
固定負債		
退職給付引当金	245,507	229,208
役員退職慰労引当金	109,465	116,449
その他	5,980	10,270
固定負債合計	360,953	355,928
負債合計	1,541,905	1,308,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	407,874	407,874
資本剰余金	397,528	397,528
利益剰余金	2,075,410	2,141,356
自己株式	17,646	17,646
株主資本合計	2,863,167	2,929,113
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	45,056	168,854
評価・換算差額等合計	45,056	168,854
純資産合計	2,908,224	3,097,968
負債純資産合計	4,450,129	4,406,867

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,357,040	4,667,359
売上原価	3,629,112	3,997,244
売上総利益	727,927	670,115
販売費及び一般管理費	462,789	447,526
営業利益	265,137	222,588
営業外収益		
受取利息	36	47
受取配当金	13,913	18,051
受取賃貸料	5,000	4,500
助成金収入	3,649	-
複合金融商品評価益	-	6,537
その他	2,136	2,273
営業外収益合計	24,735	31,409
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	772	822
複合金融商品評価損	5,168	-
その他	418	12
営業外費用合計	6,359	834
経常利益	283,513	253,163
特別損失		
固定資産廃棄損	184	548
投資有価証券評価損	7,920	-
特別損失合計	8,104	548
税引前四半期純利益	275,409	252,615
法人税、住民税及び事業税	17,177	866
法人税等調整額	115,663	93,909
法人税等合計	132,840	94,775
四半期純利益	142,569	157,840

【会計方針の変更等】

当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日至平成25年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。 なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	9,356千円	26,639千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月21日 定時株主総会	普通株式	84,236	22	平成23年9月30日	平成23年12月22日	利益剰余金

当第3四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月21日 定時株主総会	普通株式	91,894	24	平成24年9月30日	平成24年12月25日	利益剰余金

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	37円23銭	41円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	142,569	157,840
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	142,569	157,840
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,828	3,828

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月14日

株式会社インフォメーションクリエイティブ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 草加 健司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山村 竜平 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社インフォメーションクリエイティブの平成24年10月1日から平成25年9月30日までの第36期事業年度の第3四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社インフォメーションクリエイティブの平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。